令和２年度
（２０２０年度）

学　生　募　集　要　項

（ 特 別 入 試 ）

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

人文社会学部　国際法政学科
人間社会学科
　哲学・教育学プログラム，心理学プログラム，社会学プログラム
琉球アジア文化学科

教育学部　学校教育教員養成課程　小学校教育コース
　学校教育専攻
　教科教育専攻　国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，
　理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，
　保健体育専修，技術教育専修，生活科学教育専修，
　英語教育専修
学校教育教員養成課程　特別支援教育コース
　特別支援教育専攻　特別支援教育専修

理学部　物質地球科学科　物理系，地学系
海洋自然科学科　化学系，生物系

医学部　医学科
保健学科

工学部　工学科　機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース，
電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，
知能情報コース

令和元年９月
琉球大学

問 い 合 わ せ 先 等 一 覧

事　　項	問い合わせ先等	電　話　番　号
大学入試センター試験に関すること	大学入試センター事業第一課	０３－３４６５－８６００
インターネット出願に関すること	志願受付サポート窓口	０１２０－７５２－２５７
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	０９８－８９５－８１４１ ０９８－８９５－８１４２
	人文社会学部学務係	０９８－８９５－９０５６
	教育学部学務係	０９８－８９５－８３１７
	理学部学務係	０９８－８９５－８５９５
	医学部学務課入試・学事係	０９８－８９５－１０３２
	工学部学務係	０９８－８９５－８５８３
合格発表 令和２年２月１０日（月）午後３時 （詳しくは３３ページをご覧ください）	合格者の受験番号を各学部の掲示板（医学部は医学部入口（正面）の掲示板）に掲示します。また，琉球大学ホームページ（http://www.u-ryukyu.ac.jp/　→［入試情報］）にも掲載します。	
入学料，授業料の納付に関すること	財務部経理課収入･支出係	０９８－８９５－８０５８
入学料，授業料の免除に関すること	学生部学生支援課学生援護係	０９８－８９５－８１３５
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	０９８－８９５－８１３６
受験時の合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	０９８－８９５－８７５０

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く）　午前８時３０分～午後５時１５分
※お問い合わせは，原則として志願者本人が行ってください。

琉球大学の入試情報やイベント情報などが携帯電話で閲覧できます。

入試情報ケータイサイト

http://daigakujc.jp/u-ryukyu/

目　　次

○インターネット出願について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ＷＥＢ１
○令和２年度琉球大学医学部医学科入学定員について・・・・・・・・・・・・・・・・・予　告１
○琉球大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）　・・・・・・・・・・Ａ　Ｐ１

１．学部・学科等及び募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．出願資格・要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３．推薦人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

４．試験日程等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

５．入学願書受付期間及び出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（１）出願手順　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（２）受付期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（３）提出方法・提出先　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
（４）受験票について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

６．出願書類等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

７．入学検定料の払込について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

８．東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した
令和２年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について　・・　13

９．出願に関する注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

10．受験時における合理的配慮等について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

11．選抜方法等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

12．入学者選抜の実施教科・科目等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
○「12.入学者選抜の実施教科・科目等」等の留意事項

13．実技検査等実施方法(教育学部)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29

14．試験日時及び試験場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

15．受験に関する注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

16．合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33

17．入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33

18．推薦入試志願者が国公立大学・学部の一般入試を志願する場合の取扱い　・・・・・・　34

19．個人情報の利用等について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

20．入試情報開示に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35

○出願書類等一覧
出願書類等の記入上の注意

○インターネット出願について

琉球大学では，昨年度から，**インターネット出願を開始しています**。インターネット出願とは，専用サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い，本学へ印刷した出願書類等を郵送することをいいます。専用サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。

学生募集要項は本学ホームページ（http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/）に掲載します。専用サイトでの志願者情報登録前に学生募集要項を必ずご確認ください。

《推薦入試Ⅱインターネット出願サイト》

http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/#internet_application/

登録期間　令和元年１０月２３日（水）～１１月　８日（金）午後５時

＊登録期間以外は，登録できません。

＊インターネット出願を理解していただくための体験版が以下の日程でご利用できます。
体験版からは出願できません。

体験版利用期間　令和元年　９月２０日（金）～１０月１８日（金）午後５時

【インターネット出願の流れとスケジュール】

【インターネット出願の注意点】

1．インターネット出願サイトでの登録，入学検定料の支払い，出願書類等の本学への郵送が必要です。郵送した出願書類等の受付処理後に，専用サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定お知らせメールを送信します。

　インターネット出願サイトで登録，入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。

2．受験票は自身でプリントアウトし，試験当日に必ず持参してください。

受験票は「受験番号確定お知らせメール」を受信した後，プリントアウトが可能になります。

○令和２年度琉球大学医学部医学科入学定員について

琉球大学

医学部医学科は，暫定的に入学定員を，平成２１年度から平成３１年度まで「緊急医師確保対策」に基づき２名，平成２２年度から平成３１年度まで「経済財政改革の基本方針2009」に基づき５名，平成２７年度から平成３１年度まで「新成長戦略」に基づき５名，合計１２名を増員していました。（今年は昨年に比べ１２名の定員減となります。）

また，本学は令和２年度以降について，「経済財政運営と改革の基本方針2018」による医学部医学科の入学定員１２名（現状維持）の増員を申請します。

本申請が文部科学省で認可された場合（９月以降予定），公式ホームページ等で公表します。

（現行：令和２年度入学定員）

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 １００名	推薦入試Ⅱ ５名
	前期日程 ７０名
	後期日程 ２５名

（申請が認可された場合）

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 １１２名	推薦入試Ⅱ ・地域枠１４名 ・離島北部枠３名
	前期日程 ７０名
	後期日程 ２５名

※申請が認可された場合の出願資格・要件は以下のとおりとなります。

次の（1）～（5）に該当する者
（地域枠については，出願要件（2）を除く）
（1）　沖縄県に居住し，沖縄県の高等学校等(※1)を平成３０年４月１日以降に卒業した者及び令和２年３月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けたもの
※1　「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校をいう。
（2）沖縄県に居住し，沖縄県内離島地域（石垣市，宮古島市，久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
（3）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者
（4）人物，学力ともに優れ，健康で，高等学校等における学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が４．３以上）の者
（5）合格した場合は，入学することを確約できる者

（注）離島・北部枠に該当する高等学校出身者は，地域枠での出願不可

令和２年度大学入学者選抜大学入試センター試験の実施教科・科目等並びに配点については２７～２８ページと同様です。

※申請が認可された場合は，令和２年度医学部医学科の入学定員は平成３１年度と同数の１１２名になります。

※申請が認可されない場合は，令和２年度医学部医学科の入学定員は１００名です。

○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

［平成２９年２月９日
制　　定］

１．琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は，「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた２１世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の４つを目指し人材を育成します。

（１）豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
（２）優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
（３）外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
（４）地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

２．求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

（１）高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
（２）異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
（３）自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

３．入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な入試方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，
各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
（http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/）
をご覧ください。

１．学部・学科等及び募集人員

学部名	学科等				募集人員	備考
人文社会学部	国際法政学科				１２名	
	人間社会学科			哲学･教育学プログラム	５名	
				心理学プログラム	８名	
				社会学プログラム	８名	
	琉球アジア文化学科				６名	
	計				３９名	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻		１２名	沖縄県内地域指定推薦４名 一般推薦８名
			教科教育専攻	国語教育専修	２名	
				社会科教育専修	２名	
				数学教育専修	２名	
				理科教育専修	２名	
				音楽教育専修	２名	
				美術教育専修	２名	
				保健体育専修	２名	
				技術教育専修	２名	
				生活科学教育専修	２名	
				英語教育専修	２名	
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	２名	
	計				３４名	
理学部	物質地球科学科			物理系	５名	
				地学系	２名	
	海洋自然科学科			化学系	５名	
				生物系	１名	水産に関する学科のみ
	計				１３名	
医学部	医学科				５名	※予告１参照
	保健学科				９名	うち専門高校・総合学科卒業生枠１名
	計				１４名	
工学部	工学科		機械工学コース		１１名	うち専門高校卒業生枠２名
			エネルギー環境工学コース		７名	うち専門高校卒業生枠２名
			電気システム工学コース		９名	うち専門高校卒業生枠１名
			電子情報通信コース		７名	うち専門高校卒業生枠１名
			社会基盤デザインコース		１０名	うち専門高校卒業生枠２名
			建築学コース		１０名	うち専門高校卒業生枠１名
			知能情報コース		１４名	うち専門高校卒業生枠３名
	計				６８名	
合計					１６８名	

２．出願資格・要件

本学の推薦入試Ⅱに入学を志願できる者は，次の出願資格・要件に該当し，かつ令和２年度大学入学者選抜大学入試センター試験のうち本学の各学部・学科等が指定する教科・科目（１７～２８ページ参照）を受験した者です。

実施学部・学科	出願資格・要件
人文社会学部 国際法政学科 琉球アジア文化学科	次の(１)～(３)又は(４)に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお，学習成績概評がⒶに属する者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
人文社会学部 人間社会学科 ［哲学・教育学プログラム］ ［心理学プログラム］ ［社会学プログラム］	次の(１)～(３)又は(４)に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお，学習成績概評がⒶ又はＡに属する者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻 ［沖縄県内地域指定推薦］	出身高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。 （１）学習成績が優秀で，小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者 （２）児童の育成に熱意をもってあたり，地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者 次の(１)～(５)又は(６)に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）沖縄県北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）ならびに沖縄県内離島地域（宮古島市，石垣市，久米島町）に所在する高等学校を卒業見込みの者 （３）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で，全体の評定平均値が４．３以上のもの （４）将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者 （５）合格した場合は，入学することを確約できる者 （６）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（５）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻 ［一般推薦］	出身高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。 （１）学習成績が優秀で,小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者 （２）児童の育成に熱意をもってあたり,地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者 次の(１)～(４)又は(５)に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で，全体の評定平均値が４.３以上のもの （３）将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者 （４）合格した場合は，入学することを確約できる者 （５）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（４）であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.３以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等(７ページ＊参照)を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.３以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４．３以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 生活科学教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修	小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を平成３０年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.２以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修	次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４.０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
理学部 物質地球科学科 （物理系）	次の（１）～（５）又は（６）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が３．５以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）特に，物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （５）物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者 （６）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（５）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

理学部 物質地球科学科 （地学系）	次の（１）～（５）又は（６）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４．０以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）特に，地学の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （５）物理，化学，生物，または地学（理数科においては，理数物理，理数化学，理数生物，理数地学）の中から２科目以上履修した者，若しくは現在履修している者 （６）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（５）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
理学部 海洋自然科学科 （化学系）	次の（１）～（５）又は（６）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （３）高等学校等での全体の評定平均値が４．２以上で，かつ出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （４）高等学校等において，理科は物理，化学，生物，地学（理数科においては理数物理，理数化学，理数生物，理数地学）の中から化学（理数科においては，理数化学）を含んで２科目以上を履修した者，若しくは現在履修している者 （５）合格した場合は，入学することを確約できる者 （６）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（５）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
理学部 海洋自然科学科 （生物系）	次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）の**水産に関する学科**を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校（**水産に関する学科**）を卒業又は卒業見込みの者 なお，水産高等学校専攻科在学中又は令和２年３月卒業見込みの者も対象とする （２）特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお，学習成績概評がⒶに属する者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

医学部 医学科	次の（１）～（４）に該当する者 （１）沖縄県に居住し，沖縄県の高等学校等（※１）を平成３０年４月１日以降に卒業した者及び令和２年３月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けたもの ※１　「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校をいう。 （２）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者 （３）人物，学力ともに優れ，健康で，高等学校等における学習成績概評がＡ段階（全体の評定平均値が４．３以上）の者 （４）合格した場合は，入学することを確約できる者 ※沖縄県からの奨学金（医師修学資金）の概要 本選抜での入学者全員に対し，沖縄県が学費，生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。 入学者は入学時に沖縄県から奨学金貸与決定を受け，卒業までの６年間奨学金を受給することになっています。なお，卒業後，原則として琉球大学医学部附属病院にて臨床研修医として勤務し，その後は沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで沖縄県知事が指定する医療機関に医師として臨床研修を合わせて９～１２年間勤務していただきます。この場合，奨学金貸与額の全額の返還が免除されます。 （参考）沖縄県地域枠キャリア形成プログラム（http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2019/05/3157012714074b4630e2d4f48d855b77.pdf）
医学部 保健学科	次の（１）～（４）又は（５）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお，学習成績概評がⒶに属する者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）専門高校・総合学科卒業生枠にあっては，高等学校の総合学科を令和２年３月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を２０単位以上履修した者又は履修見込みの者もしくは看護関係学科を令和２年３月卒業見込みの者 （５）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（４）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの
工学部 工学科 機械工学コース エネルギー環境工学コース 電気システム工学コース 電子情報通信コース 社会基盤デザインコース 建築学コース 知能情報コース	次の（１）～（４）又は（５）に該当する者 （１）高等学校等（７ページ＊参照）を令和２年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が３.５以上の者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者 （４）専門高校卒業生枠にあっては，工業高等学校，水産高等学校及び商工農高等学校等を令和２年３月卒業見込みの者又は卒業後１年以内の者 （５）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（４）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，令和２年３月３１日までに１８歳に達するもの

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校をいう。並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

３．推薦人員

<table>
<tr><th>学部</th><th colspan="4">学科等</th><th colspan="2">推薦人員</th></tr>
<tr><td rowspan="5">人文社会学部</td><td colspan="4">国際法政学科</td><td colspan="2">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="3">人間社会学科</td><td>哲学・教育学プログラム</td><td colspan="2" rowspan="3">プログラムごとに１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>心理学プログラム</td></tr>
<tr><td>社会学プログラム</td></tr>
<tr><td colspan="4">琉球アジア文化学科</td><td colspan="2">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td rowspan="15">教育学部</td><td rowspan="15">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="12">小学校教育コース</td><td colspan="2" rowspan="4">学校教育専攻</td><td>①沖縄県内地域指定推薦</td><td>１高等学校等（定時制の課程を含む。）につき１名</td></tr>
<tr><td>②一般推薦</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき１名</td></tr>
<tr><td colspan="2">※①の県内地域指定に推薦した高校は,②の一般推薦枠にも別に１名推薦できる。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">教科教育専攻</td><td>国語教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき，平成３０年度に卒業（修了）した者から１名，令和元年度に卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者から１名，計２名以内</td></tr>
<tr><td>社会科教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>数学教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>理科教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>音楽教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>美術教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>保健体育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>技術教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>生活科学教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>英語教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>特別支援教育専攻</td><td>特別支援教育専修</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">理学部</td><td colspan="3" rowspan="2">物質地球科学科</td><td>物理系</td><td colspan="2">各高等学校等の長が推薦できる人員は，制限しない</td></tr>
<tr><td>地学系</td><td colspan="2">各高等学校等の長が推薦できる人員は，制限しない</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">海洋自然科学科</td><td>化学系</td><td colspan="2">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき４名以内</td></tr>
<tr><td>生物系</td><td colspan="2">各高等学校等の長が推薦できる人員は，制限しない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医学部</td><td colspan="4">医学科</td><td colspan="2">１高等学校（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内</td></tr>
<tr><td colspan="4">保健学科</td><td colspan="2">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td rowspan="7">工学部</td><td colspan="3" rowspan="7">工学科</td><td colspan="2">機械工学コース</td><td rowspan="7">各高等学校等の長が推薦できる人員は，制限しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">エネルギー環境工学コース</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気システム工学コース</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報通信コース</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会基盤デザインコース</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築学コース</td></tr>
<tr><td colspan="2">知能情報コース</td></tr>
</table>

４．試験日程等

入学願書受付期間 （出願書類提出期間）	令和元年１１月　１日（金）～１１月　８日（金）
試　　験　　日	令和元年１２月　４日（水）
合　格　発　表	令和２年　２月１０日（月）　午後３時
入　学　手　続	令和２年　２月１７日（月）～２月１８日（火）

５．入学願書受付期間及び出願方法

（１）出願手順

①出願登録のためのＥメールアドレスの準備

Ｅメールアドレスは，スマートフォン・携帯電話やフリーメールも利用可能ですが，本学からのメール（nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp）を確実に受信できるよう設定を確認してください。登録されたＥメールアドレス宛に，出願情報登録完了等の確認メールを送信します。

②インターネット出願サイトへの登録

大学ホームページにアクセスして，学生募集要項を確認するかプリントアウトしてご覧ください。

入試課ホームページのインターネット出願サイトより出願情報の登録を行います。

※自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は，自宅以外（学校等）のパソコン等（インターネット環境）を利用していただいてもかまいません。

③入学検定料の払込（１２ページ「７．入学検定料の払込について」参照）

④出願書類等の提出（出願書類については１０～１１ページ「６．出願書類等」参照）

（２）受付期間

インターネット出願 登録及び 入学検定料払込開始日	令和元年１０月２３日（水）～ インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。 入学願書受付期間内に出願書類等を提出することが必要です。
インターネット出願 登録可能期間	令和元年１０月２３日（水）～　１１月８日（金）午後５時 インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。 入学願書受付期間内に出願書類等を提出することが必要です。
入学願書受付期間 （出願書類提出期間）	令和元年１１月　１日（金）～　１１月８日（金） **午後５時必着（消印有効ではありません。）**

※　出願書類を郵送する際は，郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので，十分な時間的余裕をもって発送してください。（消印有効ではありません。）

（３）提出方法・提出先

「６．出願書類等」は，インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の封筒（角形２号）に入れ，**「書留郵便」**で郵送してください。入学願書受付期間終了後に到着した場合には受理しませんので，ご注意ください。

※１　入学願書の受付は，原則として郵送に限ります。ただし，高等学校等が生徒の入学願書を取りまとめて提出する場合及び（２）の入学願書受付期間内に到着しないおそれがある場合は，持参による提出を認めます。

※２　持参の場合の受付時間：午前９時～午後５時（土・日・祝日を除く）

提出先：〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
全保連ステーション（大学会館）１階　琉球大学入試課
電話　０９８－８９５－８１４１，８１４２

（４）受験票について

出願書類を受付後，令和元年１１月１４日（木）までにインターネット出願サイトで登録したＥメールアドレスへ「受験番号確定お知らせメール」を送信します。受験票は，受験番号確定お知らせメールを受信した後に，インターネット出願サイトよりダウンロードしてください。ダウンロードした受験票は印刷し，試験当日に必ず持参してください。

※１　登録したＥメールアドレスは，大学からのメール(nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。

※２　令和元年１１月１５日（金）までに「受験番号確定お知らせメール」が登録したＥメールアドレスに届かなかった場合は，インターネット出願登録をした際の整理番号を確認の上，琉球大学入試課（電話０９８－８９５－８１４１，８１４２）へ連絡してください。

６．出願書類等

（１）高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事　　項
１．調 査 書	出身高等学校等の長が作成し，厳封したものを提出してください。 なお，被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書または修了見込み証明書及び成績証明書を提出してください。 ※調査書またはそれに代わる証明書等を提出できない者は，入試課までご相談ください。
２．住民票の写し （外国籍の者のみ）	外国籍を有する者は，市町村長発行のマイナンバーの記載のない住民票の写し（記載事項の省略が無いもの。）を提出してください。

※調査書について

①文部科学省所定の様式に従い出身高等学校等の長が作成した調査書により，入学志願者の高等学校在学中の学習成績，特別活動等について審査します。

②高等学校等の長が調査書を作成する際には，次の事項を記入してください。

ア．学習成績概評がＡに属する生徒のうち，人物・学力ともに特に優秀で出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者については，**「学習成績概評」欄にⒶと標示し，「備考」欄にその理由を明示してください。**

イ．「総合的な学習の時間の内容・評価」の欄については，「総合的な学習の時間」を履修していない場合には当該欄に斜線を引いてください。

（２）インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事　　項
３．出願確認票	インターネット出願登録後，同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※印字されている内容に誤りがないか，確認してください。修正する場合は，該当部分を二重線で消し，黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。
４．宛名ラベル	インターネット出願登録後，同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※１　印字されている内容に誤りがないか，確認してください。修正する場合は，該当部分を二重線で消し，黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。また，提出書類等について確認の上，チェックしてください。 ※２　封筒は，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜でＡ４サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。 ※３　宛名ラベルの住所に合格通知書を送付します。宛名ラベルとは異なる住所に合格通知書の送付を希望する場合は，「受験番号確定お知らせメール」受信後に受験番号を確認の上，琉球大学入試課（電話０９８－８９５－８１４１，８１４２）へ連絡してください。

（３）本学様式指定の書類

様式は令和２年度推薦入試Ⅱ学生募集要項［様式集］の【出願書類】（http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_2/）からダウンロードし，Ａ４サイズで印刷してください。

出願書類等	事　　項
５．推薦書	出身高等学校等の長が作成し，厳封したものを提出してください。
６．志願理由書	志願者本人の直筆により作成してください。
７．競技歴調査書	出身高等学校等の長が作成し，提出してください。（教育学部　学校教育教員養成課程　小学校教育コース　教科教育専攻　保健体育専修のみ）
８．選択実技申請書	志願者本人の直筆により作成してください。（教育学部　学校教育教員養成課程　小学校教育コース　教科教育専攻　音楽教育専修のみ）
９．令和２ センター試験 成績請求票	次の①・②を令和２年１月２０日（月）～２４日（金）**（必着）**の間に提出してください。 ①「令和２センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」 ②大学入試センター試験受験科目票 ※上記①・②については，センター試験の受験の有無に関わらず，出願した場合は必ず提出してください。

※出願書類の印刷について

出願書類の印刷はモノクロ，カラー，片面，両面どちらでもかまいません。

また，印刷用紙は普通紙でかまいません。

７．入学検定料の払込について

（１）検定料　１７，０００円

①入学検定料の他に，別途必要な支払い手数料(６４０円)は志願者負担となります。

②東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災された方については，入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については，「８．東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した令和２年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について」を参照。

※試験成績開示を希望する場合は，検定料に開示手数料及び郵送料６６０円を併せて徴収します。

（２）入学検定料払込期間

令和元年１０月２３日（水）～１１月　８日（金）午後５時

（３）払込方法（インターネット出願サイトで選択できます。）

コンビニエンスストア，Pay-easyでの支払い（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，ネットバンキング），クレジットカード（VISA，Master Card，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

①銀行窓口での支払いはできません。

②コンビニエンスストアに設置されているＡＴＭでの支払いはできません。

③コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

（４）検定料の返還について

払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

ア．検定料を支払ったものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了，又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ．誤って検定料を二重に支払った場合

ウ．特例措置対象者（１３ページ参照）が検定料を支払った場合

※ いずれの場合でも，支払い手数料（６４０円）は返還しません。

上記（ア・イ）に該当する場合

令和２年度推薦入試Ⅱ学生募集要項［様式集］の【該当者のみの書類】（http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_2/）より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロードし，Ａ４サイズで印刷の上必要事項を記入し，払戻の理由を選択，氏名欄へ**押印**の上，下記へ送付してください。

①送付期限：令和２年３月３１日（火）

※１　封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

※２　返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。
ゆうちょ銀行口座を指定する場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。（返還には請求書受理後２～３か月程度かかります。）

②送付先

上記（ア・イ）に該当する場合

〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
電話：０９８－８９５－８０５８

上記（ウ）に該当する場合

〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
全保連ステーション（大学会館）１階
琉球大学学生部入試課
電話：０９８－８９５－８１４１，８１４２

８．東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した令和２年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では，令和２年度の全ての入学者選抜試験に関して，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，昨年度に引き続き特例措置を実施します。

（１）措置内容

検定料の免除　１７，０００円

（２）免除の対象者及び必要書類

対　象　者	必要書類
① 東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	
ア　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	り災証明書
イ　主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

（３）申請の方法

様式については令和２年度推薦入試Ⅱ学生募集要項［様式集］の【該当者のみの書類】（http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_2/）よりダウンロードし，Ａ４サイズで印刷の上作成してください。

①手続きについて，インターネット出願サイトに登録する前に，入試課へご連絡ください。

②本学所定の様式（検定料免除申請書）に，り災証明書等を添えて，出願書類とともに同封のうえ提出してください。なお，**申請する場合は「検定料」を払い込まないでください。**

また，すでに納付した検定料の返還を希望する場合は，本学所定の様式（返還金払戻請求書）に，り災証明書等を添えて学生部入試課へ申請してください。申請後，検定料を返還します。

（払戻の理由は「４．東日本大震災，熊本地震，平成３０年７月豪雨又は北海道胆振東部地震において被災」を選択してください。）

※返還金払戻請求書の送付期限は，令和２年３月３１日（火）までとします。

提出先：〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
全保連ステーション（大学会館）１階　琉球大学入試課
電話　０９８－８９５－８１４１

９．出願に関する注意

（１）国公立大学の推薦入試は，大学入試センター試験を課すもの及び課さないものを含めて，１つの大学・学部しか出願できません。よって，本学の推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱを併願することはできません。また，本学の推薦入試と他の国公立大学の推薦入試を併願することもできませんのでご注意ください。

（２）出願書類の志願者の氏名は，通称・略字等は使用せず，正確かつ丁寧に記入してください。
また，インターネット出願登録の際に氏名の漢字が正しく表記されない，文字数制限のため氏名の入力ができない場合は氏名の一部を入力の上，印刷した出願確認票の該当部分を二重線で消し，黒のボールペン（消せるボールペン不可）で正しい氏名を記入してください。

（３）出願書類に記入もれ，その他不備のある場合は受理しません。

（４）出願書類の受付後は，出願書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

（５）出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

（６）医学部保健学科，工学部志願者のうち，専門高校・総合学科卒業生枠による場合は，推薦書，志願理由書の所定の欄に○印を付してください。ただし，理学部海洋自然科学科生物系については，出願要件が専門高校卒業生枠のみのため，○印を付さないでください。

（７）出願書類提出後，「出願確認票」で届け出た志願者住所，不在時の連絡先が変更になった場合は，直ちに琉球大学入試課（電話０９８－８９５－８１４１，８１４２）に連絡してください。

10. 受験時における合理的配慮等について

本学の選抜試験志願者で，障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号）第２条第１号に定める障害者[身体障害，知的障害，精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって，障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。]において，受験時に合理的配慮を必要とする志願者は，あらかじめ本学障がい学生支援室に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し，その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は，記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

なお，合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので，早めの相談，申請書提出をお願いいたします。

〇申請の時期

令和元年１１月８日（金）午後５時まで

〇申請方法

本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を障がい学生支援室へ提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は，志願者，保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

「受験時における配慮申請書」の様式は，本学障がい学生支援室ホームページ（http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/）「支援を希望される皆さまへ」からダウンロードできます。

また，上記以外で疾病・負傷等により，受験時に特別な配慮を必要とする者も，上記申請の時期までに本学障がい学生支援室に電話，ＦＡＸ又はメールでご相談ください。

連絡先：〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
全保連ステーション（大学会館）２階
琉球大学　障がい学生支援室

電　話　０９８－８９５－８７５０
ＦＡＸ　０９８－８９５－８７９１
メールアドレス　g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 選抜方法等

出身高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績，各学部・学科等が定める選抜試験（小論文，面接等）の成績，調査書，推薦書及び志願理由書の内容を総合して選考する。

ただし，人文社会学部人間社会学科，教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻，教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻（国語教育専修・社会科教育専修・音楽教育専修・保健体育専修・英語教育専修）は以下のとおりとする。

人文社会学部人間社会学科

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

ただし，大学入試センター試験の合計点が５０％に満たない場合は不合格とする。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績の合計点が４５０点以上の者で，個別学力検査等の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績が合計点の５０％以上の者で，小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績が合計点の５０％以上の者で，小論文と面接の成績を中心に，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

ただし，大学入試センター試験の合計点が５０％に満たない場合は不合格とする。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書，志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考する。

ただし，大学入試センター試験の合計点が５５％に満たない場合は不合格とする。

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修

高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績が合計点の５５％以上の者で，面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

12. 入学者選抜の実施教科・科目等

○「12. 入学者選抜の実施教科・科目等」等の留意事項

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

１．各学部・学科等共通

（１）大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」は，この２教科を同一の試験時間において実施しますが，出題教科としては，それぞれ独立した教科です。

（２）「地理歴史」・「公民」及び「理科」の試験時間において２科目を受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とします。

（３）本学が指定している教科，科目以外を第１解答科目としている場合は，その科目を利用できなくなり，出願できません。

（４）「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」を指します。

　また，「基礎を付していない科目」とは「物理」,「化学」,「生物」,「地学」を指します。

同一名称を付した科目，すなわち物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学を選択することは認めません。

２．大学入試センター試験の利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から１科目を選択する。	**「地理歴史」・「公民」から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。
「数学」から１科目を選択する。	**「数学」から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち，高得点の科目を採用します。
「理科」の「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。	**「理科」の「基礎を付していない科目」から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。
「理科」の「基礎を付した科目」から２科目または「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。	①**「理科」の「基礎を付した科目」から２科目並びに「基礎を付していない科目」から１科目の計３科目**を受験した場合は，「基礎を付した科目（２科目の合計点）」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ②**「理科」の「基礎を付していない科目」から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。

３．大学入試センター試験の英語の筆記試験（200 点満点）とリスニング（50 点満点）の合計得点を 200 点満点に圧縮し，他の外国語と比較できるようにします。なお，入学者選抜の配点に当たっては，各学部・学科等のセンター試験の外国語の配点に換算します。また，リスニングを受験しなかった場合の取扱いについては，リスニングは０点扱いとし，筆記試験の得点のみを利用します。

　リスニングを免除された者の取扱いについては，筆記試験（200 点満点）の得点のみを利用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

　配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表します。

【前年度の大学入試センター試験成績利用について】

本学では，令和２年度入学者選抜において，前年度の大学入試センター試験成績は利用しません。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												備考
		教科	科目名等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	配点合計	
人文社会学部	国際法政学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１ 現社，倫，政経，倫･政経から１ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （６教科６科目又は６教科７科目）	小論文 面接	センター試験	200	100	100	100	100	200						400	センター試験の合計点(800点満点)に1/2を乗じ，センター試験の合計点（400点満点）とする。
					個別学力検査等							250	300	50		面接に含む	600	
					計	センター試験の合計点（800点満点）に1/2を乗じ，センター試験の合計点（400点満点）とする。						250	300	50			1000	
	人間社会学科 哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム	国 地歴 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから２①※ 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１ ｝ ②※ 現社，倫，政経，倫･政経から１ ｝ ②※ ※地歴・公民は，①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科６科目若しくは５教科７科目） 又は （６教科６科目若しくは６教科７科目）	小論文 面接	センター試験	200	＊200 （1科目100点）		100	100	200						300	センター試験の合計点（800点満点）に3/8を乗じ，300点をセンター試験の合計点とし，合計点が50%に満たない場合は不合格とする。
					個別学力検査等							300	200	面接に含む	200	面接に含む	700	
					計	センター試験の合計点（800点満点）に3/8を乗じ，センター試験の合計点（300点満点）とする。						300	200		200		1000	
	琉球アジア文化学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１ 現社，倫･政経から１ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （６教科６科目又は６教科７科目）	小論文 面接	センター試験	100	50	50	50	50	100						400	
					個別学力検査等							300	300	面接に含む	100	面接に含む	700	
					計	100	50	50	50	50	100	300	300		100		1100	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部　　科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	配点合計	備考
教育学部 学校教育教員養成課程	小学校教育コース **学校教育専攻**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ ｝ から１ 現社，倫･政経 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科６科目又は５教科７科目）	小論文 面接	センター試験	200	＊150		200	150	200						(900)	センター試験の成績の合計点が450点以上の者で，個別学力検査等の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
					個別学力検査等							200	200		50		450	
					計	センター試験の成績は資格審査としてのみ用いるので,配点を合算しない。						200	200		50		450	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **国語教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ｝ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（**注１**） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	小論文 面接（口頭試問を含む）	センター試験	200	＊100		100	100	200						(700)	センター試験の成績が合計点の50%以上の者で，小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
					個別学力検査等							100	100	面接の参考とする	面接の参考とする	面接の参考とする	200	
					計	センター試験の成績は資格審査としてのみ用いるので,配点を合算しない。						100	100				200	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **社会科教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ｝ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（**注１**） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	小論文 面接	センター試験	200	＊100		100	100	200						(700)	センター試験の成績が合計点の50%以上の者で，小論文と面接の成績を中心に，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
					個別学力検査等							200	500	面接の参考とする	面接の参考とする	面接の参考とする	700	
					計	センター試験の成績は資格審査としてのみ用いるので,配点を合算しない。						200	500				700	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **数学教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ｝ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（**注１**） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	口頭試問(数Ⅰ･数Ⅱ･数Ⅲ･数A･数B)を含む面接 （**注２**）	センター試験	200	＊100		200	200	200						900	
					個別学力検査等							200					200	
					計	200	＊100		200	200	200	200					1100	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **理科教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ ｝ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（**注１**） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	面接（口頭試問を含む）	センター試験	200	＊100		200	200	200						900	
					個別学力検査等							250			50		300	
					計	200	＊100		200	200	200	250			50		1200	

（**注１**）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部　　科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
（**注２**）口頭試問の出題範囲については，数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲの全範囲，数Ａの全範囲，数Ｂの「数列」と「ベクトル」とする。
○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	競技歴調査書	実技検査	配点合計	備考
教育学部 学校教育教員養成課程	小学校教育コース 教科教育専攻 **音楽教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B ┐ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 ┘ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	実技検査（ピアノによる弾き歌い･選択実技） 小論文 口頭試問を含む面接 ＊実技検査等実施方法については２９ページ参照	センター試験	200	＊100		100	100	200								700	センター試験の合計点が５０％に満たない場合は不合格とする。
					個別学力検査等							100	100	面接の参考とする	50	面接の参考とする		150	400	
					計	200	＊100		100	100	200	100	100		50			150	1100	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **美術教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B ┐ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 ┘ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	小論文 面接	センター試験	200	＊100		100	100	200								700	
					個別学力検査等							200	300						500	
					計	200	＊100		100	100	200	200	300						1200	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **保健体育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B ┐ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 ┘ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	面接	センター試験	200	＊100		200	100	200								400	センター試験の合計点が55％に満たない場合は不合格とする。
					個別学力検査等							300		面接の参考とする	100	面接の参考とする	面接に含む		400	
					計	センター試験の合計点（800点）に1/2を乗じ，400点をセンター試験の合計点とする。						300			100				800	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **技術教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B ┐ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 ┘ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	面接（口頭試問を含む）	センター試験	200	＊100		200	200	200								450	
					個別学力検査等							300		面接の参考とする	200	面接の参考とする			500	
					計	センター試験の合計点（900点）に1/2を乗じ，450点をセンター試験の合計点とする。						300			200				950	
	小学校教育コース 教科教育専攻 **生活科学教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B ┐ から１ 現社，倫，政経，倫･政経 ┘ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（注） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	面接（口頭試問（家庭総合）を含む）	センター試験	200	＊100		100	100	200								700	
					個別学力検査等							200		面接の参考とする	100	面接の参考とする			300	
					計	200	＊100		100	100	200	200			100				1000	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学　大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												備考
		教科	科目名等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	配点合計	
教育学部 学校教育教員養成課程	小学校教育コース 教科教育専攻 **英語教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 現社，倫，政経，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ，数Ⅰ･数A，数Ⅱ，数Ⅱ･数B，簿･会，情報から1（**注**） 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科５科目又は５教科６科目）	面接（口頭試問（一部英語で行う）を含む）	センター試験	200	＊100		100	100	300						800	大学入試センター試験の成績が55%以上の者で，面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
					個別学力検査等							250			50		300	
					計	200	＊100		100	100	300	250			50		1100	
	特別支援教育コース 特別支援教育専攻 **特別支援教育専修**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理Bから１ 現社，倫，政経，倫･政経から１ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ･数B，簿・会，情報から１（**注**）［計２科目］ 物基，化基，生基，地基から２ 又は 物理，化学，生物，地学から１ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （６教科７科目又は６教科８科目）	面接	センター試験	200	50	50	200	100	200						800	
					個別学力検査等							400			面接に含む		400	
					計	200	50	50	200	100	200	400					1200	

（**注**）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	配点合計	備考
理学部	物質地球科学科 **物理系**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物理 化基，生基，地基から２ ［計３科目］ 又は 化学，生物，地学から１ ［計２科目］ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科７科目又は５教科８科目）	面接	センター試験	200	＊100		200	200	200						900	
					個別学力検査等							400					400	
					計	200	＊100		200	200	200	400					1300	
	物質地球科学科 **地学系**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ ＊下記の①，②のいずれかから選択する。 ①物基，化基，生基，地基から２ 物理、化学，生物，地学から１ ［計３科目］ ※ただし，「同一名称を付した科目」の選択は認めない。（注１） ②物理，化学，生物，地学から２ ［計２科目］ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科７科目又は５教科８科目）	面接	センター試験	200	＊100		400	400	200						1300	
					個別学力検査等							200					200	
					計	200	＊100		400	400	200	200					1500	
	海洋自然科学科 **化学系**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ **（注２）**［計２科目］ 化学 物基，生基，地基から２ ［計３科目］ 又は 物理，生物，地学から１ ［計２科目］ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科７科目又は５教科８科目）	面接	センター試験	200	＊100		200	200	200						900	
					個別学力検査等							400					400	
					計	200	＊100		200	200	200	400					1300	
	海洋自然科学科 **生物系**	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ **（注）** ［計２科目］ 物理，化学，生物，地学から２ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （５教科７科目）	面接	センター試験	200	＊100		200	200	200						400	センター試験の合計点(900点)に4/9を乗じ，400点をセンター試験の得点とする。
					個別学力検査等							200			100	100	400	
					計	センター試験の合計点(900点)に4/9を乗じ，400点をセンター試験の得点とする。						200			100	100	800	

（注１）「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは，物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。
（注２）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大　　臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

12. 入学者選抜の実施教科･科目等

学部・学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												備考
		教科	科目名等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	推薦書	調査書	志願理由書	配点合計	
医学部	医学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物理，化学，生物から２ 英（リスニングを含む） （５教科７科目）	小論文 面接	センター試験	200	＊100		200	200	300						1000	
					個別学力検査等							300	200				500	
					計	200	＊100		200	200	300	300	200				1500	
	保健学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫･政経 ｝から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物理，化学，生物から２ 英（リスニングを含む） （５教科７科目）	面接	センター試験	150	＊50		100	100	150						550	
					個別学力検査等							250			300		550	
					計	150	＊50		100	100	150	250			300		1100	
工学部	工学科	数 理 外	数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１（注）［計２科目］ 物理 化基，生基，地基から２　［計３科目］ 又は 化学，生物，地学から１　［計２科目］ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ （３教科５科目又は３教科６科目）	面接	センター試験				200	200	200						600	
					個別学力検査等							200		50	100	50	400	
					計				200	200	200	200		50	100	50	1000	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
○配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。

13. 実技検査等実施方法（教育学部）

〇学校教育教員養成課程　小学校教育コース　教科教育専攻　音楽教育専修

Ａ　ピアノによる弾き歌い

〇次の楽曲のなかから任意の１曲を選んで，ピアノで弾き歌いをすること。演奏・歌唱の際には，必ず１番と２番など，最低２コーラスは行うものとする。

「　茶　つ　み　」　文部省唱歌
「　まきばの朝　」　文部省唱歌　　船橋栄吉　作曲
「　と　ん　び　」　葛原しげる　作詞　　梁田貞　作曲

注１：暗譜の必要はない。伴奏譜の選択は任意とし，各自で用意する。移調可とする。
２：試験前のピアノの練習は，可能です。
３：「とんび」の「ピンヨロー」の部分については原曲どおりのリズムとする。

Ｂ　選択実技

下記の（ア）～（ウ）より１つ選択すること。

（ア）ピアノ

〇Ｆ．Ｊ．ハイドン，Ｗ．Ａ．モーツァルト，Ｌ．Ｖ．ベートーヴェンのソナタより第１楽章を演奏すること。

注１：選択実技検査申請書に曲名，作曲者名を明記のこと。
２：試験前のピアノの練習は，可能です。

（イ）声楽

〇任意の声楽曲１曲を歌うこと。

注１：選択実技検査申請書に，曲名，作曲者名を明記のこと。
２：伴奏の必要な者は，出願書類提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する）。

（ウ）管弦打楽器

〇任意の楽曲１曲を演奏すること。
〇楽器は，次に指示したものより，１つ選択すること。

①管楽器
フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，リコーダー

②弦楽器
ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

③打楽器
マリンバ

注１：選択実技検査申請書に曲名，作曲者名及び楽器名を明記のこと。
２：伴奏の必要な者は，出願書類提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する）。
３：楽器は各自持参すること。

Ｃ　口頭試問を含む面接

14. 試験日時及び試験場

（１）試験日時

令和元年１２月４日（水）

志願者は**試験開始時刻の３０分前までに**当該学部の試験場前（教育学部は玄関前，ただし保健体育専修においては体育教官棟前）に集まってください。

面接（実技を含む）においては集合時刻までに当該学部の試験場前（教育学部は玄関前（ただし保健体育専修は体育教官棟前），理学部は本館の玄関前，工学部においては当該コースの試験場前）に集まってください。

学部名	学　科　等				試験時間	集合時刻
					小論文等	面　接
人文社会学部	国際法政学科				小論文　10：00～12：00	13：00
	人間社会学科			哲学・教育学プログラム	小論文　10：00～12：00	13：00
				心理学プログラム	小論文　10：00～12：00	13：00
				社会学プログラム	小論文　10：00～12：00	13：00
	琉球アジア文化学科				小論文　10：00～12：00	13：00
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻		小論文　10：00～12：00	13：00
			教科教育専攻	国語教育専修	小論文　10：00～12：00	13：00
				社会科教育専修	小論文　10：00～12：00	13：00
				数学教育専修		9：30
				理科教育専修		9：30
				音楽教育専修	小論文　10：00～12：00	実技・面接 13：00（注）
				美術教育専修	小論文　10：00～12：00	14：00
				保健体育専修		9：30
				技術教育専修		12：30
				生活科学教育専修		9：30
				英語教育専修		12：30
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修		9：30
理学部	物質地球科学科			物理系		9：30
				地学系		9：30
	海洋自然科学科			化学系		9：30
				生物系		9：30
医学部	医学科				小論文　10：00～12：00	12：40
	保健学科					9：30
工学部	工学科			機械工学コース		9：30
				エネルギー環境工学コース		9：30
				電気システム工学コース		9：30
				電子情報通信コース		9：30
				社会基盤デザインコース		9：30
				建築学コース		9：30
				知能情報コース		9：30

（注）実技試験終了後に面接を実施します。

（２）試験場

試験前日［令和元年１２月３日(火)］の午後３時以降に，各試験場の建物入口において，受験者に対する連絡，注意事項及び試験室配置図を掲示しますので，できるだけ試験場の下見を行ってください。下見は午後３時から午後６時頃までに行ってください。

各試験場の場所については，試験場配置図(http://www.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/r2exam-suisen_2-map.pdf)を参照してください。

なお，試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので，早めに試験場へ向かってください。

15. 受験に関する注意

（1）試験場は，学部ごとに散在していますので，事前に下見をしておくことをお勧めします。なお，試験場の試験室配置図及び注意事項は，試験前日［令和元年１２月３日(火)］の午後３時以降に掲示します。下見は午後３時から午後６時頃までに行ってください。

（2）試験当日は，**試験開始時刻の３０分前まで，面接においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。**なお，試験室への入室は監督者の指示に従ってください。

（3）**試験開始時刻（面接においては，集合時刻）から３０分を超えて遅刻した者は，受験することができません。**

（4）**試験室には，必ず本学の受験票を携帯し，**監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。万一忘れた場合は，当該試験場に設置している試験場本部に申し出てください。

（5）試験室の机上には，本学の受験票，時計（時計機能だけのもの），筆記用具〔鉛筆（HB），シャープペンシル（HB），消しゴム，鉛筆削り（電動式を除く。）〕のみを置いてください。それ以外の所持品は，監督者の指示に従ってください。

（6）問題冊子は，試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。

（7）解答用紙には，受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は，無効とすることがあります。

（8）試験中に不正行為をしたり，あるいは解答用紙を試験室外に持ち出した場合には，無効となります。

（9）試験時間中は，試験室からの退室は認めません。ただし，用便，身体の不調又は質問等がある場合は，挙手をして監督者の指示に従ってください。

(10) 解答用紙は，解答の如何にかかわらず必ず提出してください。

(11) **携帯電話やスマートフォン，腕時計型端末等の音の出る機器は，必ず試験室に入る前にアラームの設定を解除し，電源を切って，かばん等に入れておいてください。**

(12) **耳せんは，監督者の指示が聞き取れないことがあるので，使用を認めません。**

(13) 試験当日は，各試験場内への自動車，オートバイ等の乗り入れを禁止します。

(14) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は，十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。

(15) 咳，くしゃみ，鼻水等の症状がある場合には，他人への感染を防止するため，マスクを着用してください。

(16) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，受験の中止と退室を命じられ，それ以後の受験はできなくなります。また，既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。

① 出願確認票，受験票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。

② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。

③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

④ 試験時間中に，問題冊子を試験室から持ち出すこと。

⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

⑥ 「解答はじめ」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。

⑦ 試験時間中（面接（口頭試問，実技を含む）時間及び面接（口頭試問，実技を含む）待機時間を含む。）に，携帯電話やスマートフォン，腕時計型端末，電子辞書，IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。（ただし，緊急の連絡が必要な場合は，試験監督者等に申し出ること。）

⑧ 試験時間中に，使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具を使用すること。

⑨ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(17) (16)以外にも，次のことをすると不正行為になることがあります。指示に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは(16)と同様です。

① 試験時間中に携帯電話等の電子機器類や使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。

② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。

③ 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。

④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

⑥ その他，試験の公平性を損なう行為をすること。

16. 合格発表

合格者の発表は，下記のとおり掲示するとともに，本人あてに合格通知書と入学手続書類を郵送し，琉球大学ホームページ（http://www.u-ryukyu.ac.jp/ →［入試情報］）にも掲載します。

なお，不合格者への通知は行わず，電話による合否の問い合わせにも一切応じません。

また，合否の結果は，出身高等学校等の長にも通知します。

発表日時	令和２年２月１０日（月）　午後３時
発表場所	各学部の掲示板（医学部は医学部入口（正面）の掲示板）

17. 入学手続

（１）入学手続期間

令和２年２月１７日（月）～１８日（火）（午前９時から午後５時）

（２）入学手続場所

合格した学部で行います。

（３）提出書類

①誓約書・保護者等連絡票（本学所定の用紙は，合格者に送付する「入学手続案内」に添付），高等学校卒業(見込)証明書

②大学入試センター試験受験票

③写真１枚（上半身・脱帽・正面向きで，提出前３か月以内に撮影したもの。縦４㎝×横３㎝）

（４）入学料及び授業料

入学料（予定額）	２８２，０００円
授業料（予定額）	（前期分）２６７，９００円 （年　額）５３５，８００円

※１　上記については予定額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

※２　授業料の納入については，本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も併せて納入することができます。

※３　「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は，合格者に送付する「入学手続案内」をご確認いただくか，学生部学生支援課学生援護係にお問い合わせください。

（５）留意事項

①合格者は，本学の定める入学手続期間中に入学手続を行ってください。

②出願後に生じた特別の事情により入学を辞退する場合には，当該者の推薦を行った出身高等学校等の長を経由して令和２年２月１８日（火）までに「推薦入学辞退願」を合格学部に提出し，その許可を得た場合に限り，その入学辞退を認めます。

③上記②による入学辞退許可を受けずに入学辞退したり，入学手続を行わない場合には，翌年度以降当該出身高等学校等の長からの推薦を受理しませんので，注意してください。

また，その場合，本年度に出願済の他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）を受験しても入学許可は得られません。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

④入学手続書類等は，令和２年２月１８日（火）午後５時までに必着するよう本人が直接持参するか又は**「書留郵便」**で発送してください。

⑤国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入試センターの受験番号に限って，推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達しますので，ご了承ください。

18. 推薦入試志願者が国公立大学・学部の一般入試を志願する場合の取扱い

推薦入試志願者も，不合格となった場合に備えて，本学または他の国公立大学・学部の一般入試の「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つの合計２つの大学・学部にも出願することができます。ただし，出願に際しては，志望する大学・学部・学科等が指定する令和２年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していること及び入学検定料を新たに納入することが必要です。

19. 個人情報の利用等について

（1）本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は，次のとおり利用又は提供しますので，あらかじめご了承ください。

①入学者選抜，合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。

②入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき，学生支援関係業務（健康診断，入学料免除，入学料徴収猶予，授業料免除，奨学生採用，就職支援等），教務関係業務（学籍管理，修学指導，成績管理等），納付金関係業務（授業料徴収等）で利用します。

③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお，統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は，個人が特定できないよう配慮します。

④国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

⑤本学の関連団体である琉球大学同窓会，琉球大学後援財団，各学部・学科同窓会及び各学部・学科後援会に，入学手続者の氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

（2）上記(1)の各種業務での利用にあたっては，本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に，必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合，受託業者に対し，当該個人情報について，その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し，又はその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。

（3）出願書類の不備等がある場合，その訂正・補完を速やかに行っていただくため，本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを，保護者又は出身高等学校等に通知する場合があります。

（4）本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は，上記及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第９条に規定されている場合を除き，本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

20. 入試情報開示に関する事項

（１）個別学力検査等の採点・評価基準

①人文社会学部

国際法政学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
	調　査　書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技･資格等を評価する。
	推　薦　書	○受験生の人物，学校生活状況，学業成績，課外活動・特技・資格，将来への取り組み等を評価する。
	志願理由書	○進学の目的，将来の計画及び長所・特技等を評価する。面接の評価に含める。
人間社会学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，構成力等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
	調　査　書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技･資格等を評価する。学業成績以外は面接の基礎資料とし，面接評価にも含む。
	推　薦　書	○学業，人物，課外活動等について，面接の基礎資料とし，面接の評価に含む。
	志願理由書	○目的意識，意欲，志望に至った経緯，記述力等について面接の基礎資料とし，面接の評価に含む。
琉球アジア文化学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
	調　査　書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技･資格等を評価する。
	推　薦　書	○学業，人物，課外活動等について，面接の基礎資料とし，面接の評価に含む。
	志願理由書	○志望理由・動機，将来計画及び長所・特技・アピール点等を総合的に評価し，面接の評価に含む。

②教育学部

学校教育教員養成課程

小学校教育コース	学校教育専攻		面　　接	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○自分の意見をまとめ，適切に表現する力をみる。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し，議論する力をみる。
			小　論　文	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価する。
			調　査　書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
	教科教育専攻	国語教育専修	口頭試問を含む面接	○現代文・古文・漢文の著名かつ基礎的な作品（の一部）を提示し，読解力や思考力をみる。 ○意欲，目的意識，適性，表現力等をみる。
			小　論　文	○国語教育や言語の問題等に関するまとまった分量の文章を読んだうえで，その内容を正確に把握していることを前提に，しっかりとした根拠に基づいて自らの意見を的確に論述・表現できる能力を求める。
			調　査　書	○面接の参考資料とする。

小学校教育コース	教科教育専攻	社会科教育専修	面接	○小学校教員として適性，意欲，目的意識，論理的思考力，表現力等を評価する。
			小論文	○資料等の読解力･分析力，および設問の趣旨をふまえて論述する構想力･表現力について評価する。
			調査書	○面接の参考資料とする。
		数学教育専修	口頭試問を含む面接	○小学校教師としての適性，及び数学についての理解の程度と論理的思考力について評価する。
		理科教育専修	口頭試問を含む面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。 ○口頭試問は，自然科学についての理解の程度及び論理的思考力について評価する。
			調査書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技等を総合的に評価する。
		音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみる。
			口頭試問を含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみる。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみる。 ○面接態度，表現力等をみる。 ○基礎的な理論，楽典，用語，音楽史の知識・理解をみる。
			小論文	○出題の意図を把握し，問題の解決のための分析力や意見，主張に論理性があり説得力があるかをみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
		美術教育専修	面接	○受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価する。
			小論文	○発想力や鑑賞力，造形教育への関心度を評価する。
		保健体育専修	面接	○小学校の教員としての資質や適性を評価する。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価する。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価する。
			調査書	○学業成績：「教科全体の評定平均値」を評点化する。 ○特記事項：部活動，学級・生徒会活動，特技や表彰・受賞等について評点化する。
			競技歴調査書	○専門種目についての競技実績や成績を判断していくための基礎資料とする。高等学校等の長が責任をもって記載した所定の「競技歴調査書」を精査し，面接でも聴取する。なお，競技歴調査書には本人の競技大会･試合への出場や競技成績が客観的に証明できる資料を添付すること。（競技歴調査書の記入上の注意事項を必読のこと。）
		技術教育専修	口頭試問を含む面接	○学校教員への意欲をみる。 ○ものづくりに関する基礎的な知識とものづくり体験及び技術的思考力をみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
		生活科学教育専修	面接	○教師への意欲をみる。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」及び特記事項を評点化する。
		英語教育専修	面接	○志望理由，動機，将来の進路計画，英語学習や英語教育に関する意欲，興味などについて面接を行う。面接は一部英語で行う。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。

特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	面　接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価する。
			調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させる。

③理学部

物質地球科学科 物理系	面　　接	○動機，意欲，長所，将来計画，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む），適性等を総合的に評価する。その際に，調査書（*下記の記述を参照），推薦書，志願理由書の記載内容も含めて評価する。
	＊調 査 書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技，資格等を総合的に評価する。
物質地球科学科 地学系	面　　接	○動機，意欲，長所，将来計画，理科の基礎学力，適性等を総合的に評価する。その際に，調査書（*下記の記述を参照），推薦書，志願理由書の記載内容も含めて評価する。
	＊調 査 書	○学業成績，修学状況，課外活動，特技，資格等を総合的に評価する。
海洋自然科学科 化学系	面　　接	○意欲［動機，長所，将来計画等。ただし，調査書（*下記の記述を参照），推薦書，志願理由書の記載内容も含める。］，化学の基礎学力，適性等を総合的に評価する。
	＊調 査 書	○主に化学（あるいは科学全般）に関する活動および特記事項を評価する。
海洋自然科学科 生物系	面　　接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性等を総合的に評価する。その際に，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて評価する。
	調　査　書	○生物学に関する活動や資格，特記事項等を評価する。
	志願理由書	○生物学に関する関心の程度や，学習意欲，文章力や論理性などを総合的に評価する。

④医学部

医　学　科	小　論　文	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価する。
	面　　接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価する。
保 健 学 科	面　　接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価する。
	調　査　書	○学力，リーダーシップ，課外活動，表彰等を総合的に評価する。

⑤工学部

工　学　科 （各コース共通）	面　　接	○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化する。
	志願理由書	○志願理由書（志望動機，将来計画，長所・特技，自己アピール等）を総合的に評価し，点数化する。
	調　査　書	○評定平均値を点数化する。
	推　薦　書	○学校等の長の推薦書（学業，人物，課外活動等）を評価し，点数化する。

（２）合否判定基準

①全学部の基本的な基準

○大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の成績等，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とする。（ただし，人文社会学部の人間社会学科，教育学部の学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻，小学校教育コース教科教育専攻（国語教育専修・社会科教育専修・音楽教育専修・保健体育専修・英語教育専修）を除く） ○大学入試センター試験及び個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とする。

②学部ごとの基準

１）人文社会学部

国際法政学科	○大学入試センター試験の成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定する。
人間社会学科	○大学入試センター試験の成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定する。 ○大学入試センター試験の合計点が５０％に満たない場合は不合格とする。
琉球アジア文化学科	○大学入試センター試験の成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定する。

２）教育学部（学校教育教員養成課程）

学部共通			○大学入試センター試験の成績，個別学力試験等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。
小学校教育コース	学校教育専攻		○小論文と面接の成績を中心に，出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので，配点には影響しない。
	教科教育専攻	国語教育専修	○小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので，配点には影響しない。
		社会科教育専修	○小論文と面接の成績を中心に，出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので，配点には影響しない。
		数学教育専修	○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）の総合評価により判定する。
		理科教育専修	○大学入試センター試験，面接（口頭試問を含む）及び出願書類の総合評価により判定する。
		音楽教育専修	○大学入試センター試験，実技検査，小論文，口頭試問を含む面接及び出願書類を総合的に判断する。 ○大学入試センター試験の成績配点合計の５０％に満たない場合は不合格とする。
		美術教育専修	○大学入試センター試験，小論文，面接の総合評価により判定する。
		保健体育専修	○大学入試センター試験の合計点に１／２を乗じた値をセンター試験の得点とする。 ○面接を中心に，大学入試センター試験，調査書，推薦書，志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考する。 ○大学入試センター試験の成績が配点合計の５５％に満たない場合は不合格とする。
		技術教育専修	○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合評価により判定する。 ○大学入試センター試験の合計点に１／２を乗じた値をセンター試験の得点とする。
		生活科学教育専修	○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，出願書類を総合して判定する。
		英語教育専修	○大学入試センター試験，面接（口頭試問を含む，一部英語で行う）及び出願書類を総合的に判定する。

特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	○大学入試センター試験と面接及び調査書の総合評価により判定する。

３）理学部

物質地球科学科 物理系	○大学入試センター試験及び面接の総合点により判定する。
物質地球科学科 地学系	○大学入試センター試験及び面接の総合点により判定する。
海洋自然科学科 化学系	○大学入試センター試験及び面接の総合点により判定する。
海洋自然科学科 生物系	○大学入試センター試験，面接，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。

４）医学部

医　学　科	○合格ラインに同点者がいる場合には，次の順序に従って順位を付して合格者とする。 ①面接の高得点者　②小論文の高得点者　③大学入試センター試験の外国語の高得点者　④大学入試センター試験の数学の高得点者　⑤大学入試センター試験の理科の高得点者
保 健 学 科	○大学入試センター試験５５０点，調査書３００点，面接２５０点の配点とし，総合点１１００点満点で上位者から合格者とする。

５）工学部（工学科各コース共通）

工学科 （各コース共通）	○大学入試センター試験，調査書，推薦書，志願理由書，面接を点数化し，総合得点で順位付けを行い，合否を判定する。

（３）試験成績開示

令和２年度推薦入試Ⅱの個人成績を，合格者・不合格者を問わず，インターネット出願システムで試験成績開示を希望した方に開示します。申請方法，開示内容及び開示方法は以下のとおりです。

①申請方法

インターネット出願システムで出願の際に，成績開示を希望した方に試験成績を開示します。手数料及び郵送料（６６０円）を負担いただきます。なお，出願時に申請しなかった方は「保有個人情報開示請求」により成績開示請求をすることができます。

②開示内容

１）当該年度のみ開示します。

２）個別学力検査等の得点を個別に開示します。

③開示方法

インターネット出願システムで登録した住所宛に「個人成績通知書」を送付します。

なお，「個人成績通知書」は令和２年５月２８日（木）以降に順次発行しますが，１か月程度日数を要する場合があります。

出　願　書　類　等　一　覧

高等学校等から取り寄せる書類	
1	調査書
2	住民票の写し（外国籍の者のみ）
インターネット出願サイトから印刷する書類	
3	出願確認票
4	宛名ラベル
本学様式指定の書類	
5	推薦書
6	志願理由書
7	競技歴調査書（教育学部　学校教育教員養成課程　小学校教育コース　教科教育専攻　保健体育専修のみ）
8	選択実技検査申請書（教育学部　学校教育教員養成課程　小学校教育コース　教科教育専攻　音楽教育専修）
9	令和２センター試験成績請求票（令和２年１月２０日（月）～２４日（金）（**必着**））

出願書類等の記入上の注意

記入に当たっては，本募集要項を熟読し，以下の事項に注意して記入してください。

１．記入は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。

２．通称・略字等は使用せず，漢字は楷書で，数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。

３．「※印の欄」（受験番号欄，出欠欄等）は記入しないでください。

４．記入不備がある場合は，受理しないので注意してください。

５．インターネット出願登録を行い，入学検定料を払込した後の記載内容の変更は認めません。

６．インターネット出願登録を行い，入学検定料を払込した後に，本人及び保護者の連絡先，住所を変更した場合は，直ちに出願した各学部の学務係（表紙裏面「問い合わせ先等一覧」参照）に連絡してください。